

嘉手納町さんさん保育所落成式



令和6(2024)年5月23日、嘉手納町さんさん保育所の落成式が行われ、当山嘉手納町長をはじめ関係者の方々が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は園児が安心・安全に過ごせるよう利便性と機能性の向上を図り、待機児童の解消に繋げることを目的とし、嘉手納町が当省の防衛施設周辺整備助成事業等を活用して整備したものです。

当局といたしましては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設の調和を図ることが何よりも重要であると認識しており、今後とも防衛施設周辺の皆様方の生活の安定及び福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。

目次

- ◆ 普天間飛行場代替施設建設事業について 2
- ◆ 那覇港湾施設移設に係るてだこの都市・浦添の振興に関する協議会の開催について 3
- ◆ 宜野座村ふれあい交流センター落成式 3
- ◆ 第29回沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会について 4
- ◆ 県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施について 4

CONTENTS

- ◆ 小型無人機等飛行禁止法関係 5
- ◆ 在沖米海兵隊司令官交代式への参加について 6
- ◆ 久志区ハーレー大会について 7
- ◆ 北谷ニライハーレー大会について 7
- ◆ 令和5(2023)年度
沖縄防衛局長感謝状の贈呈について 8
- ◆ 令和6(2024)年度日米音楽交流事業について 8

普天間飛行場代替施設建設事業について

キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、平成 29(2017)年11月から辺野古側の護岸工事に、平成 30(2018)年12月には埋立工事にそれぞれ着手し、辺野古側の埋立地については、令和 6(2024)年 5 月末時点で、必要な土量の 99.5%まで埋立工事が進捗しています。

また、令和 5(2023)年12月に変更承認申請の承認を得たことから、令和 6(2024)年 1 月には、大浦湾側の工事に着手しており、2 月からは、埋立区域③-1 の護岸工事を実施しているところです。

さらに、本事業の実施に伴うサンゴ類の移植を引き続き行うため、令和 4 年 7 月に特別採捕許可申請をしていたところですが、令和 6 年 5 月に沖縄県知事から許可されたため、現在、サンゴ類の移植作業を進めているところです。

普天間飛行場の移設をめぐる問題の原点は、市街地に位置し、住宅や学校で囲まれ、世界で最も危険と言われる普天間飛行場の危険性を一日も早く除去することです。当局としましては、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現し、そして、基地負担の軽減を図るため、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境にも十分配慮しながら、移設に向けた工事を着実に進めてまいります。



サンゴ移植状況



埋立区域③-1 施工状況

那覇港湾施設移設に係るてだこの都市・浦添^{まち}の振興に関する協議会の開催について

令和6(2024)年4月24日、防衛省が主宰する、第1回「那覇港湾施設移設に係るてだこの都市・浦添^{まち}の振興に関する協議会」を防衛省において開催し、本協議会の構成員である沖縄県及び浦添市にご出席いただき、政府側からも防衛省及び内閣府が出席しました。また、オブザーバーとして国土交通省及び那覇港管理組合にもご出席いただきました。

本協議会においては、浦添市から、「地元振興に資する事業計画案」の検討状況として、西海岸周辺エリア及び内陸エリアについて、本事業計画案の具体化を進めていくための基本構想の策定を行うとの説明があり、各構成員は、浦添市から説明のあった事業計画案の具体化の取組について、前向きに協力していくことを確認しました。

また、防衛省からは、本協議会の新たな設置目的を「那覇港湾施設の移設を受け入れた浦添市の振興を円滑に進めるため、関係機関において振興事業等を協議」とすることを提案しました。また、次回協議会については、本年夏頃に行うこととし、その際、浦添市より、実現可能性を踏まえつつ、優先的に進めていく事業等を提示することを提案し、各構成員は、防衛省からの提案について異存ない旨を確認しました。

約10年ぶりの開催となった昨年10月の第23回那覇港湾施設移設受入に関する協議会に引き続き、新たな名称となった本協議会を、浦添市の松本市長ご出席のもと開催し、構成員間で国と地元が一体となって浦添市の振興についてしっかり取り組むことを確認できたことは、重要であると考えています。

沖縄防衛局としては、那覇港湾施設の移設に向けて、地元にも丁寧に説明しながら、引き続き、全力で取り組んでまいります。

第1回てだこ協議会の様子



(地元側：沖縄県、浦添市、那覇港管理組合)



(国側：防衛省、内閣府、国土交通省)

※国土交通省及び那覇港管理組合はオブザーバーとして参加

宜野座村ふれあい交流センター落成式

令和6(2024)年5月10日、宜野座村ふれあい交流センター落成式が行われ、関係者の方々が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、長年にわたり村民の皆様に利用されてきた中央公民館の老朽化に伴い、新たなコミュニティ拠点施設として整備され、村民の方々の多種多様な教育・文化活動に活用いただけるとともに、地域の災害避難拠点としても、安全・安心に利用できる施設です。

本事業は、宜野座村が当省の「再編交付金(交付額：約14億6千9百万円)」を活用し整備したものです。

写真：宜野座村提供



宜野座村ふれあい交流センター



テープカットの様子



伊藤局長の祝辞

【当局担当者の声】

企画部施設対策計画課の渡久地です。宜野座村の皆様の地域行事やコミュニティ活動の拠点である本施設の整備に微力ながら携わることができ、大変嬉しく思います。

新たに整備された本施設が、子供からお年寄りまで幅広い世代の憩いの場となり、また災害時には地域の避難場所として利用されることで、村民の方々が安心安全でより快適な生活を実現できることを期待しております。

第 29 回沖縄県在日米軍事故対応に関する 合同協議会について

令和 6 (2024) 年 5 月 29 日、第 29 回沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会が外務省沖縄事務所において開催され、沖縄県における在日米軍航空機事故への対応体制、令和 5 (2023) 年度の活動結果及び令和 6 (2024) 年度の活動予定について協議しました。

当該協議会において、沖縄県における米軍事故発生時の対応体制や関係機関の連携を確認するとともに、今後も在沖米軍と各種会議や合同訓練を計画的に推進し、事故発生時における迅速・的確な対応が行えるように連絡・協力体制の強化を図ることを確認しました。

なお、本協議会は、平成 16 (2004) 年 8 月に発生した米海兵隊ヘリコプターによる沖縄国際大学への墜落事故を機に、在沖米軍関連事故が発生した際、現場における関係機関の連携強化を図り、政府一体としての危機管理を実現するために設置されたものです。



県道 104 号線越え実弾射撃訓練の分散・実施について

キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた、県道 104 号線越え実弾射撃訓練については、平成 8 (1996) 年 12 月の日米特別行動委員会 (S A C O) の最終報告に基づき、沖縄県民の負担軽減のため、これらの訓練を平成 9 (1997) 年 7 月から本土 5 ヶ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施しており、これまでに 95 回実施されています。

沖縄防衛局では、在沖米海兵隊がこの訓練を実施するにあたって必要な物資等の円滑な輸送のため、米軍や輸送業者と打合せを重ね、輸送状況を確認するなどの業務を行っています。

令和 6 (2024) 年度の訓練計画については、以下のとおり予定しており、各演習場における訓練の具体的な日程等については、今後、日米間において調整を行い決定します。

今後とも、本土 5 ヶ所の演習場への訓練の分散・実施を行い、沖縄県民の負担軽減に取り組んでまいりたいと思います。

【令和 6 (2024) 年度訓練計画】 令和 6 (2024) 年 1 月 18 日公表

第 1 回北富士演習場	令和 6 (2024) 年 4 月～ 6 月
第 2 回矢臼別演習場	令和 6 (2024) 年 7 月～ 9 月
第 3 回王城寺原演習場	令和 6 (2024) 年 10 月～ 12 月
第 4 回日出生台演習場	令和 7 (2025) 年 1 月～ 3 月



小型無人機等飛行禁止法関係

1) 小型無人機等飛行禁止法の概要

重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律（平成28年法律第9号）第10条第1項の規定に基づき、防衛大臣が指定する対象防衛関係施設の敷地又は区域及びその周囲おおむね300mの地域の上空においては、**※小型無人機等**の飛行が禁止されています。

○小型無人機等とは

①小型無人機（いわゆる「ドローン」等）

飛行機、回転翼航空機、滑空機、飛行船その他の航空の用に供することができる機器であって、構造上人が乗ることができないもののうち、遠隔操作又は自動操縦により飛行させることができるもの。

②特定航空用機器（ハンググライダー、パラグライダー等）

航空法（昭和27年法律第231号）第2条第1項に規定する航空機以外の航空の用に供することができる機器であって、当該機器を用いて人が飛行することができるもの（高度又は進路を容易に変更することができるものとして国家公安委員会規則で定めるものに限る。）

周囲おおむね300mの地域の上空
(イエロー・ゾーン)

自衛隊施設／米軍施設の敷地・区域の上空
(レッド・ゾーン)



ドローン使用禁止
NO DRONE ZONE



ただし、以下の表に掲げる場所においては、それぞれ以下に掲げる小型無人機等の飛行を行うことが可能です。

場 所	可 能 な 飛 行
対象防衛関係施設の敷地又は区域の上空 (レッド・ゾーン)	・対象防衛関係施設の管理者の同意を得た者が行う小型無人機等の飛行
対象防衛関係施設の敷地又は区域の周囲 おおむね300メートルの地域の上空 (イエロー・ゾーン)	・対象防衛関係施設の管理者の同意を得た者が行う小型無人機等の飛行 ・土地の所有者若しくは占有者（正当な権原を有する者に限る。）又はその同意を得た者が行う小型無人機等の飛行 ・国又は地方公共団体の業務を実施するために行う小型無人機等の飛行

2) 対象防衛関係施設として指定された在沖米軍施設

（今年6月以降に対象防衛関係施設として指定された施設については、赤字で記載しています）

海兵隊施設：北部訓練場、伊江島補助飛行場、牧港補給地区、津堅島訓練場、金武レッド・ビーチ訓練場、金武ブルー・ビーチ訓練場、辺野古弾薬庫、キャンプ・コートニー、キャンプ・シュワブ、キャンプ・ハンセン、キャンプ瑞慶覧、普天間飛行場

海軍施設：沖大東島射爆撃場、泡瀬通信施設、ホワイト・ビーチ地区、天願棧橋、キャンプ・シールズ

空軍施設：鳥島射爆撃場、出砂島射爆撃場、久米島射爆撃場、嘉手納飛行場、嘉手納弾薬庫地区

陸軍施設：八重岳通信所、陸軍貯油施設、トリイ通信施設、那覇港湾施設

【告示図面一部抜粋】



○ 在沖米軍対象防衛関係施設において、小型無人機等の飛行を行う場合の問い合わせ及び手続については、下記の連絡先にお問い合わせください。

★**沖縄防衛局 企画部 連絡調整課 小型無人機等担当 係**

【TEL】098-921-8131（内線214・161）【e-mail】odb-drone-ok@ext.okinawa.rdb.mod.go.jp

※自衛隊施設周辺でのドローン飛行に関しては、各自衛隊施設までお問い合わせ願います。

○ 詳細については、防衛省ホームページにも掲載しておりますのでご活用ください。

★ 防衛省ホームページ「小型無人機等飛行禁止法に基づく対象防衛関係施設の指定について」

<https://www.mod.go.jp/j/presiding/law/drone/index.html>



在沖米海兵隊司令官交代式への参加について

沖縄防衛局長らは、令和6(2024)年5月から6月にかけて、在沖米海兵隊各基地において実施された司令官交代式に参加しました。

今夏で、米海兵隊太平洋基地司令官リズウスキー少将、キャンプ瑞慶覧・キャンプ桑江司令官バニング大佐、キャンプ・シュワブ司令官クラーク大佐、キャンプ・ハンセン司令官マーティン大佐の計4名が離任し、新たに4名の新司令官が着任しました。

沖縄防衛局からは、離任する各司令官に対して、在任期間中、日米安全保障体制の維持・強化のための日ごろの様々な措置を講じるとともに、沖縄における米軍基地に係る課題等の解決のため尽力いただいたことに対する感謝と敬意を表し、感謝状を贈呈しました。

また、新司令官に対しては、着任を祝福するとともに、前司令官との間で築き上げてきた強固な日米関係をさらに発展させることで一致しました。

各司令官交代式の様子



伊藤沖縄防衛局長と、
離任されたスティーン・リズウスキー少将



6月14日に実施された米海兵隊太平洋基地司令官交代式の様子
(米海兵隊より写真提供)



感謝状を渡す櫻井沖縄防衛局次長、
離任されたリチャード・マーティン大佐



感謝状を渡す阿野沖縄防衛局次長、
離任されたエリック・クラーク大佐



キャンプ瑞慶覧・キャンプ桑江司令官
交代式の様子(米海兵隊より写真提供)

久志区ハーレー大会について

令和6(2024)年5月26日、久志区海岸において手漕ぎ船の速さを競う「久志区ハーレー大会」が開催され、沖縄防衛局企画部チームも参加し熱戦を繰り広げました。

同大会への当局の参加は、昨年に続き2度目の参加となりました。

当日は連日続いた雨が止み、船頭の鳴らす鐘の音に合わせて参加チームの掛け声、多くの観客の声援により、大会は大いに盛り上がりしました。

当局が参加した職域レースでは、安里久志区長自らが沖縄防衛局チームの舵取りとして乗船し、結果として職域の部で準優勝を勝ち取ることができました。

この久志区ハーレー大会は豊作・豊漁、海の安全祈願が込められた伝統のある行事であり、区民の皆様にとって親睦を深める大切な行事です。

当局職員も、ハーレー大会を通じて区民の皆様と交流を行い親睦を深めることができました。



久志区海岸を疾走するハーレー船



沖縄防衛局職員と安里久志区長

北谷ニライハーリー 大会について

令和6(2024)年6月16日、北谷町浜川漁港において「北谷ニライハーリー大会」が開催され、若手職員を中心に沖縄防衛局企画部チームとして参加しました。

当日は小雨が降る中での出漕となりましたが、天気負けじと大きな掛け声、声援で会場を盛り上げました。

この北谷ニライハーリーは、海の恵みに感謝し、豊漁、安全航行を願う行事であり、北谷町の皆様にとってとても大切な行事です。

結果は振るいませんでしたが、地域行事を盛り上げることができ、大事な地域交流の場となりました。



懸命にハーリー船を漕ぐ勇姿



ハーリーに参加した沖縄防衛局職員

令和5(2023)年度沖縄防衛局長感謝状の贈呈について

防衛省においては、例年11月1日の自衛隊記念日に合わせて、防衛省・自衛隊の活動や事務の遂行に著しい功労があった方に対し、沖縄防衛局長より感謝状を贈呈しています。

令和5(2023)年度、沖縄防衛局管内においては、防衛施設の安定的使用に多大な御協力を賜った中山石垣市長に感謝状が贈呈されました。

沖縄防衛局としては、御協力・御理解に深く感謝するとともに、今後とも、引き続き沖縄の負担軽減に努めてまいります。



中山石垣市長

伊藤沖縄防衛局長

令和5(2023)年度においては、中山石垣市長ほか4名の方に感謝状を贈呈しております。

(はいさい5月号掲載：松川宜野湾市長、上原勝連漁業協同組合代表理事組合長、外間南原漁業協同組合代表理事組合長、若津石川漁業協同組合代表理事組合長)

令和6(2024)年度日米音楽交流事業について

日時

9/29 (日)
14:00 ~ 17:00
(開場 13:00)



会場

沖縄アリーナ
沖縄市山内1丁目16-1

入場
無料

【問い合わせ先】

企画部 地方協力確保課 日米交流事業担当

TEL: 098-921-8131 (受付時間 9:00 ~ 17:00)

詳細につきましては、沖縄防衛局HP及び

沖縄防衛局X(旧 Twitter) に随時更新予定です！

※天候やその他の事由によりプログラムを変更する可能性があります。
予めご了承ください。

沖縄防衛局では、在日米軍の施設及び区域の周辺に所在する市町村の住民と在日米軍人、軍属及びその家族との間において、スポーツ、音楽、文化活動等による交流を通じて、互いに時間、場所及び体験を共有することにより、相互理解を促進し、信頼関係の醸成を図ることを目的として、平成20(2008)年度から「日米交流事業」を実施しております。

今年度は沖縄アリーナにおいて嘉手納飛行場周辺自治体の中高生、自衛隊音楽隊、米軍施設内の中高生及び米軍音楽隊による日米音楽交流事業を開催することになりました。

出演者の素晴らしい演奏をお楽しみください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。